

「ノロウイルス完全死滅」 専門家が除菌効果に注目

ノロウイルスの大流行を受けて、除菌・消臭水「ドクターウォーター」への注目が全国の旅館・ホテルから殺到している。発売元のNIBM（本社・東京都港区）では、「ノロウイルスはもちろん、レジオネラ属菌、極めて強い耐性を持つ芽胞菌にも強い除菌効果を持つ。衛生管理はお任せ下さい」とアピールしている。商品は微生物などの研究者らで組織する学会の昨年の年次大会でも取り上げられるなど、専門家の間でも注目されている。

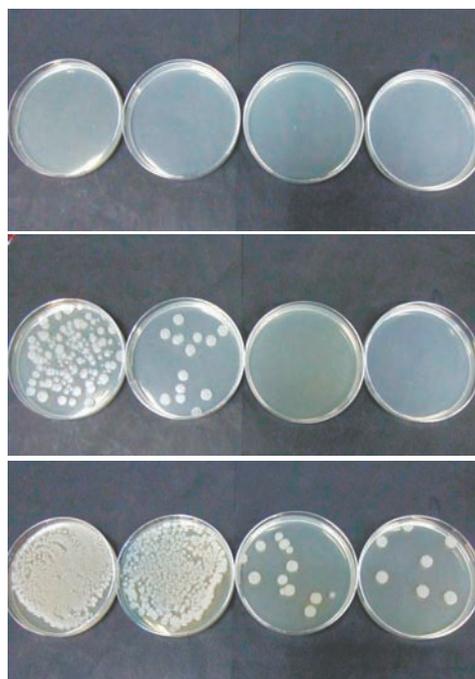
ドクターウォーターは、厚生労働省が認める食品添加物の次亜塩素酸ソーダと希塩酸、水でできている弱酸性の除菌・消臭水。「多段階中和希釈」という特許技術で製造されているため、塩素の濃度やペーハーが安定しており、安定して強い除菌効果が得られるという。

ノロウイルスについては平成22年4月、「ドクターウォーター」により、人体由来のノロウイルスが遺伝子レベルで完全死滅した」と

のデータが農林水産省からの受託実績がある検査機関から示された。またレジオネラ属菌については、「市販の次亜塩素酸ナトリウムに比べて100倍強い除菌

N I B M の
ドクターウォーター

データで注文殺到 芽胞菌を“完全秒殺”



ドクターウォーター（上＝258ppm、中＝68ppm）と次亜塩素酸ナトリウム水（下＝950ppm）による芽胞菌殺菌効力の比較実験。いずれの写真も左から処理後0.5分間、1分間、2分間、4分間の経過を示している。ドクターウォーター（写真上）は0.5分間以内で菌が死滅。4倍希釈しても（写真中）2分間以内で死滅している。次亜塩素酸ナトリウム水（写真下）では濃度が濃いにもかかわらず4分間でも菌が残っている。

力を持つ。厚生労働省のレジオネラ症防止対策に関するホームページで、ドクターウォーターのペーハー値

るといふデータが、NPO法人カビ相談センターの調査で実証されている。写真

が所属する日本防菌防黴（ばい）学会の第39回年次大会で、前出のNPO法人カビ相談センターの高島浩

が、殺菌効果が得られる最も理想的なものだと掲載されている」（同社）。

商品が口腔内化粧品として認可を得ており、「ヒトの口に入ったり、赤ちゃん

が触れたりしても安全」。九州大学名誉教授の野本

高島氏は「ドクターウォーターの効果についてさらに研究し、今年の年次大会（9月11、12日、大阪）でも発表したい」と話している。

芽胞菌については、次亜塩素酸ナトリウム水による処理では4分経っても残る菌が、ドクターウォーターでは0・5分以内で死滅す

日には約2千人の研究者らも発表したい」と話している。

に研究し、今年の年次大会（9月11、12日、大阪）でも発表したい」と話している。

▽NIBMは東京都港区白金台2の26の10、プラチナビル。☎03(3280)1357。

商品はスプレータイプ（400ミリ）、ポンプタイプ（千ミリ）、アルミパウチ（1リットル×15袋）や、容量5・5リットルの専用噴霧器を用意している。

この冬、猛威を振るうノロウイルス。患者数がこの10年で2番目に多い水準となるなど、大きな社会問題になっている。大切な人命を預かる旅館・ホテルにとって、衛生管理は必要不可欠といえる。